

# 日本臨床内科医学会誌投稿規定

## はじめに

- ・日本臨床内科医学会誌（以下「本誌」と略す）は、日本臨床内科医会の機関誌であり、臨床内科学を追求し、その進歩、発展に寄与することを目的とする。本誌の略名は「日臨内科医会誌」とし、英文名は「JJPA」とする。

## 1. 投稿資格・内容

- ・筆頭著者あるいは責任著者は、本会会員に限る。ただし、編集委員会において承認された場合はこの限りではない。
- ・投稿原稿は、原著、症例報告とし、他誌に未発表もしくは投稿中でないものに限る。動物実験に関する論文はこれを受け付けない。
- ・共著者数は、原著、症例報告すべて、筆頭著者を含め10名までとする。

## 2. 論文の著作権と掲載

- ・本誌に掲載された投稿論文（図表、写真を含む）の著作権は、日本臨床内科医会に帰属する。
- ・投稿論文には、附1の形式で著者全員の署名を添付すること。
- ・本誌に掲載された論文の中から、編集委員会の審議により選択された論文については、オープンアクセス（OA）化しインターネット上に公開することができる。
- ・OA論文は、クリエイティブ・コモンズ（CC）表示-非営利-改変禁止（CC BY-NC-ND）4.0国際ライセンス条件下で公開される。CCライセンスは公開後に条件を変更することはできない（<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>）。なお、OA化のAPC（Article Processing Charge；論文処理費用）については、当面の間、日本臨床内科医会がその費用を負担する。
- ・本誌に掲載した論文の無断転載を禁ずる（OA論文を除く）。

## 3. 倫理指針

- ・臨床症例に関する報告では、関係者の人格権を尊重し、報告する内容の説明を行い同意を得ることを原則とする。
- ・臨床研究の場合は、ヘルシンキ宣言（ヒトを対象とする医学研究の倫理的原則、1964年6月世界医師会総会）を基礎として厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に準拠し、倫理審査委員会による研究計画の承認を受け、承認されたことを明記する。
- ・また、末尾の「附則：個人情報保護に関する指針」を参照し、倫理的配慮をすること。
- ・臨床研究については、投稿の際に倫理審査委員会に承認を得た旨の報告書を添付すること。

## 4. COI 開示（利益相反関係）

- ・投稿にあたっては、日本臨床内科医会「医学研究の利益相反（COI）に関する指針」に基づき、附2の形式で報告書を作成し添付すること（申告の内容は論文の採否には影響しない）。

## 5. 原稿種別と文字数

※組み上がり1頁は、約1,400字に相当する。

### （1）投稿論文

#### （a）原著

- ・原著とは、複数の患者データを統計的処理などで一般化し、真理を導くことを目指したものとする。
- ・「はじめに」「対象と方法」「結果」「考察」「結論」の項目に分けて記述すること。
- ・本文8,000文字以内（要旨・文献・図表は含まない）、図表は5点までとする。このうち、組み上がり5ページまでは無料、超過1ページにつき掲載料20,000円（税別）とする。

#### （b）症例報告

- ・症例報告とは、単一あるいは複数（9例以下）の患者の病気の診断や治療経過を詳細に報告

- した研究性のない（医療上の）ものとする。
- ・「はじめに」「症例」「考察」の項目に分けて記述すること。
- ・本文 4,000 文字以内（要旨・文献・図表は含まない）、図表は 3 点までとする。このうち、組み上がり 3 ページまでは無料、超過 1 ページにつき掲載料 20,000 円（税別）とする。

※原著および症例報告としての投稿がその要件を満たさない場合でも、査読委員会の判断により臨床経験（著者の経験）として採用されることがある。

## (2) コラム

- ・日常臨床経験に即し著者自身の考察を加えたもの。
- ・1,400 字以内

## (3) 目で見えるページ

- ・写真が鮮明で、診断的説得力のあるもの。所見が特異的かつ教訓的なものに限定する。
- ・解説文は 800 字以内、図表は 2 点までとする。

## (4) 一般寄稿

- ・上記以外で、編集委員会が掲載を認めたもの。文字数、原稿種別は、編集委員会が決定する。

## 6. 原稿の様式

- ・原稿は、原則として電子データで作成すること。以下の電子ファイル形式を推奨する。

Microsoft Word (.docx), Microsoft Excel (.xlsx), Microsoft PowerPoint (.pptx)

※画像データは、上記データ内に挿入して構わないが、画質が著しく劣化する場合は、JPEG、TIFF 等で別添のこと。

- ・原稿は全て A4 サイズとする。適切な余白（上下左右 20～30mm 程度）を確保し、行間はダブルスペースとする。左端に行番号を入れ、最下部（フッター）にページ番号を入れる。
- ・下記 (1)～(8) までを、ひとつの電子ファイルで作成し、図表・写真については、別の電子ファイルに分けても構わない。

### (1) 表題頁

①論文種別、②表題（和文・英文）、③著者

名（和文・英文）、④所属機関（和文・英文）、⑤キーワード（和文・英文で 3 語以内）、⑥カラー印刷の希望の有無、⑦連絡先（郵便番号、住所、電話番号、E-mail）。

英文の著者名は、名、姓の順とし、姓名の後に資格もしくは職種の略記、医師:MD (Medical Doctor)、博士:PhD (Doctor of Philosophy)、看護師:Ns (Nurse)、薬剤師:Ph (Pharmacist)、保健師:PHN (Public Health Nurse)、栄養士:Dt (Dietitian)、理学療法士:PT (Physical Therapist)、作業療法士:OT (Occupational Therapist) 等を併記すること。

【例】 Tarou YAMADA, MD<sup>1)</sup>, Hanako TANAKA, Ph<sup>2)</sup>, and Tarou SUZUKI, Ns<sup>3)</sup>  
(2) 要旨頁（和文・英文）

要旨は、小見出しを入れ、論文全体の内容（はじめに・対象と方法・結果・考察・結論、もしくははじめに・症例・考察）を簡潔にまとめたものとする。和文要旨は 600 字以内、英文要旨は、和文要旨に対応した内容で、500words 以内を目安とする。なお、英文要旨は、実費にて、編集委員会に翻訳を依頼することができる。希望の場合は、表題頁に明記すること。

### (3) 本文頁

原著:「はじめに」「対象と方法」「結果」「考察」「結論」の構成が明確に判別できるように執筆する。

症例報告:「はじめに」「症例」「考察」の構成が明確に判別できるように執筆する。

また、特に下記の点に留意し、読者が理解しやすいように配慮する。

- ・文章は「である」調とし、簡潔に平易でわかりやすい表現とする。話し言葉や散文調は避けること。
- ・統計解析手法を用いる場合は、手法を明記すること。
- ・略語を使用する場合は、初出時に省略しないで記し、(以下「○○」と略す) などとする。
- ・薬品名は原則として一般名で書くこと。
- ・学術用語は日本内科学会制定の用語に準じ、

度量衡単位は原則として国際単位を用いる。

【例】 km, m, cm, mm, dl, ml,  $\mu$ l, kg, g, mg,  $\mu$ g, mEq/l, mg/dl (リットルは, 小文字)

#### (4) COI 開示 (利益相反関係)

本文の末尾に, COI 開示 (利益相反関係) を記載すること。

【例】 著者による COI 開示: 本稿において開示すべき利益相反関係なし

著者による COI 開示: 講演料 (〇〇薬品(株)), 研究費・助成金などの総額 (〇〇製薬(株)) など。

#### (5) 倫理審査情報

臨床研究においては, 本文内の「対象と方法」の項に倫理審査情報 (倫理審査委員会名と承認番号, 承認日) を記載すること。

【例】 本研究は, 〇〇倫理審査委員会の承認を得て実施された (承認番号: 〇〇, 承認日: 20XX 年〇月〇日)。

#### (6) 文献頁

・本文の後に引用順に, 番号を付して列挙する。本文中では, 番号を当該箇所の上肩につけること。

・著者名は筆頭者 1 名を記し, 複数の場合は和文では「他」, 英文では「et al」をつける。英文氏名については姓, 名の順とする。

#### 雑誌の場合

著者名 (筆頭者 1 名でよい): 論文題名, 雑誌名, 巻: 頁 - 頁, 年 (西暦)

【例】 後藤由夫, 他: EBM に基づく 21 世紀の糖尿病診療。日臨内科医会誌, 15: 252-263, 2000

Ascherio A, et al: Hepatitis B vaccination and the risk of multiple sclerosis. N Engl J Med, 344: 327-332, 2001

#### 単行本の場合

著者名 (1 名でよい): 章題名, 書名: サブタイトル (編集者名), 版数, 発行所名, 発行地, 発行年 (西暦), 頁 - 頁

【例】 網谷良一: AIDS における結核。結核: HIV 感染と抗酸菌感染症 (泉孝英), 第 3 版, 医学書院, 東京, 1999, pp 299-312

Tung CY, et al: Cost-effectiveness of prevention of cardiovascular disease. EVIDENCE BASED CARDIOLOGY: Prevention of cardiovascular diseases (Yusuf), 1st Ed. BMJ books, London, 1998, pp 303-314

- ・原著においては, 20 編までを目安とする。
- ・症例報告においては, 10 編までを目安とする。
- ・略誌名は, 和文雑誌は医中誌データベースに登録されている略誌名に, 欧文雑誌は PubMed の記載に従う。
- ・オンラインジャーナルで, 巻号や頁が与えられていない場合は, DOI (Digital Object Identifier) を明記すること。オンラインジャーナルではないインターネット上の文献については, 題名, アドレス, アクセス日を明記すること。

#### (7) 図表説明頁 (Figure legends)

・図表のタイトルを番号順に記載し, 図の説明は「図の説明」として, 本文とは別に記載する。

#### (8) 図表・写真

- ・患者の写真を用いる場合, 原則として被験者が確認できないように配慮すること。
- ・カラー掲載を希望の場合は, 実費 (刷り上がり 1 頁約 55,000 円) にて, 掲載することができる。希望の場合は, 表題頁に明記のこと。
- ・図・写真の掲載料金は著者負担とする。

## 7. 原稿採否

投稿論文は, 編集委員会査読委員と学術部専門班員が審査 (査読) し, 論文の採否を決定する。審査 (査読) の結果, 原稿の一部改正または訂正を求めることがある。

## 8. 校正

著者校正は, 初校のみ投 (寄) 稿者に依頼するが, 再校以後は編集委員会において行う。

## 9. 原稿の提出先

電子データにて, E-mail (jpa@intern.co.jp)

で提出のこと。電子データでない場合は、下記まで郵送のこと。また、原稿のコピーは、必ず手元に保存すること。

#### 送付先：

日本臨床内科医会誌 編集事務局

E-mail: [jpa@intern.co.jp](mailto:jpa@intern.co.jp)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-7-11 カクタス飯田橋ビル

インテルナ出版内

Tel : 03-3944-2591 Fax : 03-5319-2440

各種書類様式は、下記サポートサイトよりダウンロードできる。また、電子データの作成の仕方のより詳しい方法なども閲覧できる。

<https://www.jjpa.jp/>

#### 附則：個人情報保護に関する指針

- (1) 患者個人の特定可能な氏名、カルテ番号（診療録番号）、イニシャルまたは「呼び名」は記載しない。
- (2) 患者の住所は記載しない。ただし、疾患の発生場所が病態等に関与する場合は、区域までに限定して記載することを可とする（神奈川県、横浜市など）。
- (3) 日付は、臨床経過を知る上で必要となることが多いので、個人が特定できないと判断される場合は年月までを記載してよい。
- (4) 他の情報と診療科名を照合することにより患者が特定される場合、診療科名は記載しない。

- (5) すでに他院などで診断・治療を受けている場合、その施設名、所在地を記載しない。ただし救急医療などで搬送元の記載が不可欠の場合はこの限りではない。
- (6) 顔写真を提示する際には目を隠す。眼疾患の場合は、顔全体がわからないよう眼球のみの拡大写真とする。
- (7) 症例を特定できる生検、剖検、画像情報に含まれる番号などは削除する。
- (8) 以上の配慮をしても個人が特定化される可能性のある場合は、発表に関する同意を患者自身（または遺族か代理人、小児では保護者）から得るか、倫理委員会の承認を得る。
- (9) 遺伝性疾患やヒトゲノム・遺伝子解析を伴う報告では「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を遵守する。

#### 査読委員会

審査委員長：小林 一雄

審査委員：竹谷 哲、雨宮徳直、山田俊彦、下村泰三、森 博子、坂井健二、中山陽介、古谷武文、本田壮一、伊東範尚、深尾篤嗣

#### 本規定の改定

本規定は1990年2月から施行する

本規定は2001年6月から施行する

本規定は2013年12月から施行する

本規定は2015年12月から施行する

本規定は2018年12月から施行する

本規定は2024年1月12日から施行する

本規定は2025年6月9日から施行する

日本臨床内科医会会誌 誓約書

(西暦) \_\_\_\_\_ 年 月 日

論文題名

---



---

上記論文は、同様の内容を含めて他の学術雑誌に投稿あるいは掲載していなことを誓約いたします。また、掲載後の図表を含む原稿のオープンアクセス化および著作権は日本臨床内科医会に帰属することを了承し、他雑誌への無断掲載は行わないことを誓約します。また、投稿規定を遵守します。

責任著者

---

共著者

---

## 附 2

### 日本臨床内科医会会誌：自己申告による COI 報告書

著者名：

---

論文題名：

---



---

(著者全員について、投稿時から遡って過去2年間以内での発表内容に係る企業・組織または団体とのCOI状態を記載)

項 目	該当の 状況	有であれば、 著者名：企業名などの記載
① 報酬額 1つの企業・団体から年間100万円以上	有・無	
② 株式の利益 1つの企業から年間100万円以上、あるいは当該株式の5%以上保有	有・無	
③ 特許使用料 1つにつき年間100万円以上	有・無	
④ 講演料 1つの企業・団体からの年間合計100万円以上	有・無	
⑤ 原稿料 1つの企業・団体から年間合計100万円以上	有・無	
⑥ 研究費・助成金などの総額 1つの企業・団体からの研究経費を共有する所属部局（講座、分野あるいは研究室など）に支払われた年間総額が200万円以上	有・無	
⑦ 奨学（奨励）寄付などの総額 1つの企業・団体からの奨学寄付金を共有する所属部局（講座、分野あるいは研究室など）に支払われた年間総額が200万円以上	有・無	
⑧ 企業などが提供する寄付講座 (企業などからの寄付講座に所属している場合に記載)	有・無	
⑨ 旅費、贈答品などの受領 1つの企業・団体から年間10万円以上	有・無	

(本 COI 申告書は論文掲載後 2 年間保管されます)

申告日（西暦）                      年                      月                      日

責任著者（署名）

---